

子どもの安全のためにできること

仲嶺 真弓

2022年も師走となりました。何かと気ぜわしくなるこの時期です。そんな時こそ一呼吸置きながら、事故のないようにと思います。

11月半ば、岸和田市で、2歳児が保護者所有の車内で、熱中症で亡くなるという事故がありました。保育園に送ろうとしたところ、姉妹別の保育園利用をされていて、2か所目の送迎を忘れ自宅に戻ってしまい、そのままお迎えの時間まで忘れていることを気付かず起こった事故でした。このニュースを聞きながら、どこで起こってもおかしくないと身を引き締めました。このような事故ははじめて聞いたことではありませんでした。つばさ共同保育園では、開園以来ずっと保育園からの一本の連絡で防げる事故もあるという思いで、毎朝10時に事務室が各クラス園児の人数確認をし、未登園の理由を掘めていない家庭には、確認の電話をしています。職員の連携ミスで、連絡をしてしまうことがあることは申し訳ないのですが、事故に繋がらないようにと続けています。表紙にも掲載しましたが、あらためてお休みの連絡のご協力をお願いします。

保育園での事故は、これだけではなく、「保育所の駐車場で子どもが他の保護者の車にはねられ死亡する」という事故の情報もよく聞きます。事故報告から事故の理由として聞かれるのは、朝夕の同じ時間帯に送迎が重なり駐車場が混雑すること、同乗する我が子を気遣いながら運転し出勤や帰宅を急ぐ保護者は周囲への注意が甘くなること、また1~2歳の子どもは一目散に飛び出したりしがちなこと、体が小さく運転席から視認が困難なこと、さらには、季節によっては日没後の暗い中でのお迎えになること、などが考えられます。事故の防止のためにまず重要なことは、保護者の皆さんが「保育園の駐車場は危険なエリアである」ということを強く意識してください。その上で、送迎側の親は駐車場で子どもを自由にさせずしっかりと手をつなぐことが必要です。保護者が子どもから目を離して危ないと気付いたときは、ぜひ保護者同士でも声をかけあってください。また運転側の親は、「視界に入らないような小さな子どもが突然飛び出してくるかもしれない」と普段以上に意識して、緊張感をもって運転してもらいたいと思います。子どもが安全に安心して過ごせる園で痛ましい事故が起こりませんように大人がみんなて気を付けていきましょう。

消防署と避難・消火訓練を行いました（11/21）

